

「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
理科	理科演習 (エリア指定)	3年	2	プリントなど

到達目標 ※	2年までの理科の学習内容を基にして、主に化学分野の内容について、演習を通じて理解を深め、問題を解く力をつけさせる。
到達目標に向けての 具体的な取組 【指導上の留意点】	問題演習を中心とする。基本的な事項の定着を図ることに留意する。 単元ごとに重要な実験操作は、実際に行い、理解を深める。 演習問題は入試問題も取り上げ、実戦的な力の育成も図る。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	有機化学	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境に存在する有機物質について、特に芳香族化合物を中心に、理解を深める。 重要な反応については、実験でその変化を確認する。 	定期考査 演習への参加状況 小テスト レポート ノート提出 など	<ul style="list-style-type: none"> 基礎知識が定着しているか。 積極的に演習し、発表を行っているか。
5月				
6月				
7月	高分子化合物	<ul style="list-style-type: none"> 合成高分子化合物について、特に合成繊維や合成樹脂を中心に取り上げ、基本構造と性質を理解する。 天然高分子化合物について、特にデンプンとタンパク質を中心に取り上げ、基本的な構成とその性質について理解する。 		<ul style="list-style-type: none"> 身近な物品の中に具体例を発見できるか。 化学変化の関係する現象を、日常生活の中で意識し、理解できているか。
8月				
9月				
10月				
11月	溶液の性質	<ul style="list-style-type: none"> 希薄溶液の性質(凝固点降下・沸点上昇、浸透圧など)や、コロイド溶液の性質についてとりあげる。演習を中心に理解を深める。 		
12月				
1月				
2月				
3月				

※学習指導要領に示された教科の目標をふまえて設定すること。

別紙様式3-①の(1)に記した「学校設定科目」について、科目ごとに作成すること。